

予算特別委員会資料

議案第 1 号

令和 3 年度北九州市一般会計予算（消防局所管分）について

1 歳入予算額 P 2

2 歳出予算額 P 3

参考 消防局主要事務事業の概要 P 4、5

消防局

令和3年度北九州市一般会計予算（消防局所管分）について

1 歳入予算額

(単位：千円)

款	項	目	節	本 年 度	前 年 度	比 較
17	1	11	1 消 防 使 用 料 【P26】	855	850	5
	2	9	1 消 防 手 数 料 【P30】	42,655	39,073	3,582
18	1	3	1 消 防 費 負 担 金 (国) 【P33】	6,707	4,489	2,218
	2	11	1 消 防 費 補 助 金 (国) 【P42】	0	3,535	△ 3,535
	3	6	1 消 防 費 委 託 金 (国) 【P46】	3,000	3,000	0
19	1	6	1 消 防 費 負 担 金 (県) 【P48】	124	85	39
	2	8	1 消 防 費 補 助 金 (県) 【P54】	104,654	104,947	△ 293
20	1	1	1 土 地 貸 付 収 入 【P58】	2,425	2,395	30
			2 建 物 貸 付 収 入 【P59】	4,491	4,793	△ 302
22	1	4	1 市 民 太 陽 光 発 電 所 特 別 会 計 繰 入 金 【P65】	8,000	8,000	0
24	6	4	30 消 防 費 雑 入 【P82】	129,756	124,756	5,000
25	1	11	1 消 防 債 【P91】	1,605,400	1,305,200	300,200
計				1,908,067	1,601,123	306,944

※節の【P】は、「令和3年度北九州市一般会計予算に関する説明書」の頁を示す。

2 歳出予算額

12款1項 消防費

(単位：千円)

目	本年度	本年度の財源内訳				説明
		特定財源			一般財源	
		国県支出金	地方債	その他		
1 消防職員費 【P216】	9,282,990 (△231,733)			37,726	9,245,264	消防関係職員給与費
2 常備消防費 【P216～217】	823,866 (6,631)	6,831		89,840	727,195	○常備活動経費 177,253 ○予防行政経費 48,270 ○職員研修経費 39,292 ○その他経費 559,051
3 非常備消防費 【P217】	410,174 (△13,584)			60,616	349,558	消防団活動に要する経費
4 消防施設費 【P218】	2,183,077 (306,604)	107,654	1,605,400		470,023	○常備消防施設整備費 2,001,507 ・消防通信指令システム中間更新 962,500 ・車両購入経費等 855,288 ・その他経費 183,719 ○非常備消防施設整備費 181,570
計	12,700,107 (67,918)	114,485	1,605,400	188,182	10,792,040	

※目の【P】は、「令和3年度北九州市一般会計予算に関する説明書」の頁を示す。

※()は前年度比

令和3年度 消防局主要事務事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	予算額
地域の総合的な災害対応力の強化	① 消防団の充実強化	<p>老朽化した消防団施設の建替えを計画的に進めるとともに、消防団の装備の充実強化を図る。</p> <p>また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進を図る。</p> <p>◆小倉北消防団第4分団本部新築（江南町） ◆小倉南消防団第3分団沼本町支部新築（沼緑町四丁目） ◆八幡東消防団第6分団田代支部新築（田代町）</p>	105,538
	② 市民防災活動への支援	<p>「市民防災会」を対象に防災リーダー研修を実施するなど、地域の自主防災力向上のための支援・指導を行い、地域で開催される消防訓練等を通じて、市民の主体的な自助・共助意識の醸成を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。</p>	6,596
	③ 応急手当の普及啓発活動の推進	<p>市民による救命効果の向上を図るため、AEDの取扱いを含めた応急手当の普及啓発活動を推進する。</p>	1,604
高齢者等要配慮者の安全・安心対策の推進	④ あんしん通報システム	<p>ひとり暮らしの高齢者世帯等に緊急通報装置を設置し、火災の防止と被害の軽減を図るとともに、急病等に対する警備員の駆け付け、医療・福祉スタッフの相談対応などにより、高齢者等が住み慣れた地域において安全で安心した生活ができるよう支援する。</p>	<p>(債務負担 3,200)</p> <p>873</p> <p>※上記の他、保健福祉局所管分(介護保険特別会計) 53,177</p>
	⑤ いきいき安心訪問の推進	<p>介護職員初任者研修を修了した消防団員が中心となり、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災や家庭内での事故防止の指導、簡単な身の回りのお世話をを行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、高齢者の安全・安心の向上を図る。</p> <p>◆令和3年度の訪問予定数 2,368世帯</p>	7,815
	⑥ 住宅防火対策の推進	<p>住宅火災による死者の発生を防ぐため、設置義務化から10年以上が経過した住宅用火災警報器の交換と定期的な点検・清掃について啓発を強化するなど、高齢者世帯等を中心とした住宅防火対策を推進する。</p>	911
	⑦ Net 119緊急通報システム	<p>119番通報が困難な聴覚又は音声・言語機能の障害や疾病等がある方が、外出先からでも、スマートフォン等の簡単な操作で119番通報ができるシステムを運用する。</p>	2,796

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	予算額
あらゆる災害に対応できる消防力の強化	⑧ 水難救助用資器材整備事業	近年の豪雨災害における教訓等を踏まえ、安全かつ迅速に人命救助活動を行うために、水難救助隊員の潜水用のスーツや潜水資器材等を計画的に整備し、災害対応力の強化を図る。	5,738
	⑨ 救急体制の充実強化	質の高い救急救命処置を提供できる体制に向け、計画的に救急救命士を養成する。 ◆令和3年度養成人数 6人	15,158
	⑩ 第49回全国消防救助技術大会の開催	全国の消防救助隊員の代表が、人命救助の技術を競う大会を勝山公園（小倉北区）とグローバルマーケットアクアパーク桃園（八幡東区）で開催する。 あわせて、来場者が楽しみながら学べるイベントを実施する。	33,000
	⑪ 消防通信指令システムの中間更新	119番通報の受付から消防部隊の編成や出動指令など、消防活動の土台となる消防通信指令システムについて、今後の安定稼働と長期継続使用を可能にするため、ハードウェアやOSの一部を更新する。	962,500
消防施設等の整備	⑫ 消防施設の長寿命化	災害時の防災拠点となる消防施設の長寿命化を図るため、建築物や建築設備の改修を計画的に進める。 ◆訓練研修センター（実施設計、改修工事） ◆門司消防署門司西分署（実施設計） ◆八幡西消防署黒崎分署（改修工事）	(他に債務負担 19,000) 46,600
	⑬ 消防団施設の耐震化	地域の防災拠点となる消防団施設の耐震化を図るため、耐震診断の結果に基づき、計画的に耐震補強工事などを行う。 ◆門司消防団第9分団喜多久支部（大字喜多久） ◆小倉南消防団第4分団上曾根支部（上曾根三丁目） ◆小倉南消防団第9分団井手浦支部（大字井手浦）	9,300